

研修内容 実技研修 オホーツク中体連(1回戦) 副審・第4の審判

受講者 1名

今回は受講者が1名のみでしたが、昨年3級を取得し、道女子リーグ等でさらに経験を積むことにより、副審としてタッチジャッジ等を落ち着いて、自信を持って行うことができました。第4の審判は久しぶりでしたが、細かなことにも気づき、無難にこなすことができました。過去の研修会に何度も参加して得たことを確実に自分のものにできている結果だと思います。事前指導を含め、審判団の方々に優しく丁寧に指導していただきました。この場を提供していただいた3種の皆様、ありがとうございました。

研修概要

人数が少なかったため、同日実施の審判研修会と一緒に行いました。この日の実技研修での事例や、Jリーグでの事例を、映像を見て確認しました。

研修生の感想

今回の中体連は、副審2試合と4 t h 1 試合をやらせていただきました。副審では今まで、走りきる、オフサイドラインキープ、タッチジャッジ、綺麗な姿勢という基本的なことを意識して行っていました。しかし、たくさんの経験をつんだこともあり、目標に達したと思ったので、今回は「主審をどうサポートしていくか」をテーマに行いました。試合中に大きな問題は起こりませんでした。自分には「こうなった場合こうなる」という予測が足りていないと感じました。主審が正しく判定できるようにアイコンタクトやファウルサポートが改めて大事だと学びました。何かあったときにすぐ対応できるように、競技規則で確認したり、経験を積んでいきたいです。また、4人の審判員で連携を取りながら、円滑なゲームができる環境をこれからも作っていききたいです。

今後の予定

審判委員会女子部会では、今後も研修会を予定しています。男子と同じ研修への参加も可ですが、「男子と一緒にできるレベルにないのでは」「初心者なので実技練習をする場がない」など、女性ならではの悩みがあると思います。オホーツク地区でも女子審判員が増えてきましたので、個々の状況に応じた研修が必要と感じています。ユース・社会人等、どなたでも歓迎です。ご要望・ご質問等がありましたら、有資格者・無資格者問わず、ご連絡ください。

連絡先：審判委員会女子部会 大石 090-2693-7521



ユース・女子審判員研修会7/21(日)美幌・8/10(土)遠軽 要項はオホーツク地区サッカー協会HPに掲載中

女子審判研修会② 8/25(日)遠軽

//

近日中に掲載